

# インマヌエル中目黒キリスト教会

## 2013年 2月 3日 聖日礼拝

---

教会總會を越えて

「互いに仕えあう」

ペテロの手紙第一

4章 7-11節

竿代照夫 牧師



# 聖書朗読

## 新約聖書

### ペテロの手紙第一 4章7-11節

聖書本文は新改訳聖書第三版  
(©新日本聖書刊行会) を使用しています。  
変更箇所：14節

第二版の聖書はp420/ 第三版の聖書はp457

- 7 万物の終わりが近づきました。ですから、祈りのために、心を整え身を慎みなさい。
- 8 何よりもまず、互いに熱心に愛し合いなさい。愛は多くの罪をおおうからです。
- 9 つぶやかかないで、互いに親切にもてなし合いなさい。
- 10 それぞれが賜物を受けているのですから、神のさまざまな恵みの良い管理者として、その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。

11 語る人があれば、神のことばにふさわしく語り、奉仕する人があれば、神が豊かに備えてくださる力によって、それにふさわしく奉仕しなさい。それは、すべてのことにおいて、イエス・キリストを通して神があがめられるためです。栄光と支配が世々限りなくキリストにありますように。アーメン。

# 説 教

教会総会を越えて

「互いに仕えあう」

ペテロの手紙第一

4章7－11節

竿代照夫 牧師



主テキスト:

「それぞれが賜物を受けているのですから、  
神のさまざまな恵みの良い管理者として、  
その賜物を用いて、互いに仕え合いなさい。」  
(1ペテロ4:10)

■「終わり」の近さを意識しつつ、  
ペテロは5つの勧告をする

1. 祈ること(7節): 落ち着いた気持ちで
2. 愛し合うこと(8節): 真実に愛を注ぐ
3. もてなしあうこと(9節): 喧かず、親切に
4. 互いに仕え合うこと(10節):  
各人の賜物を活かしつつ
5. 奉仕すること(11節):  
御言を語るもの、仕えるもの、  
それぞれに相応しさをもって

## ■「互いに仕え合うこと」(10節)

A. 賜物:「それぞれが賜物を受けている…」

1. 賜物(カリスマ)とは:神の恵み(カリス)として  
与えられたもの

2. 賜物の目的:教会を立て上げるため

3. 賜物の内容:

1コリント12、エペソ4、ローマ12を総合すると



## <聖言を伝えて群れを導く>

- ①使徒職＝教会の基礎を据える
- ②預言＝神の言葉の説教
- ③伝道＝福音を伝えて、人々を救いに導く
- ④勧め＝信徒的な立場で聖言を取り次ぐ

## <群れに対する助言や教え>

- ⑤知恵＝知恵を生活に適用する
- ⑥知識＝神に関する知識を教える
- ⑦牧会＝群れに対するケア
- ⑧教育＝群れを教え、導く

## <群れの管理的な務め>

- ⑨指導＝教会の行政にあたる
- ⑩奉仕＝教会のこまごました奉仕

<与える務め> ⑪分け与え＝信徒同士の助け合い  
⑫慈善＝教会の外の人々への助け

<特別な助けを与える>

⑬信仰＝目に見える結果を齎す信仰

⑭いやし＝病人を治す力

⑮奇蹟の力＝超自然的な出来事を  
齎す力

<霊的な識別>

⑯霊の識別力＝聖霊の働きか否かを見分ける

⑰異言＝習ったことのない言葉で神の恵みを  
語る

⑱異言の解釈＝異言を説明する力

この他にも・・・

B. 賜物の管理者：「神のさまざまな恵みの  
良い管理者として・・・」

1. 管理者：家の仕切りを委ねられた人
2. 管理者の責任：賜物を主のために活用し、  
栄光をお返りする

C. 互いに仕え合う:「その賜物を用いて、  
互いに仕え合いなさい。」

1. 仕えるとは:他の必要に応えること

2. 互いに仕え合う:他に仕えること、仕えら  
れることで謙遜を学ぶ

## 終わりに

1. 私の賜物は何かを確かめよう
2. その賜物を十分に活かそう